KUFC

神奈川大学フロンティアクラブ会報
発　行　日　2020年11月10日
編集・発行　神奈川大学フロンティアクラブ
組織・広報専門委員会
事務局　神奈川大学　総務部校友課内
〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋3-27-1
TEL.045-481-5661㈹
FAX.045-481-2741
第 34 号

# コロナの影響　総会後の各種催事は中止

フロンティアクラブ会長
村田　龍也

会員の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は、本会及び母校神奈川大学に対しご支援を賜りまして誠にありがとうございます。

さて、日本経済は新型コロナウイルスの猛威により、4月7日に発出された緊急事態宣言以降、経済活動の自粛など多くの企業に影響をもたらし、未だ収束の見通しがつきません。ご存知の通り当クラブは2月の定時総会以来、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、3月以降のフロンティアサロンを全て中止とし、箱根交流会も中止の決断をいたしました。

また、9月16日に開催を予定しておりました、伊東慎介横浜港埠頭（株）社長（1981年＝昭和56年、法律学科卒、元横浜市港湾局長）のご尽力により進めて参りました施設見学会・交流会も苦渋の決断ではありましたが中止といたしました。

これは、皆様の安全を第一に考えた上での決断として、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

## 在学生の修学支援にもご協力を

新型コロナウイルスの影響は、学生生活においても甚大な影響をもたらしたと伺っております。母校神奈川大学は緊急事態宣言以降、学生と教職員の安全を考慮し、8月1日までの入構制限を敷き、授業はオンラインにするなどの対応を取っており、後学期以降においても、引き続きオンラインを併用しての授業を展開しております。

学生の中には、新型コロナウイルス感染拡大の影響がもたらした経済活動の自粛により、アルバイトなどの収入減や家計の急変により困難な生活を送っている学生もいると聞いております。大学は「コロナウイルスによる退学者を一人も出さない」という決意から、大学独自の修学支援として、全学生に対し5万円の給付（総額9億円）措置を講じ、パソコン・無線ルーターなどの貸し出しを行い、在学生の支援を講じております。この事態を受け止め、当クラブと致しましても学生の修学支援として、現在、大学の教職員を中心に行っている「神奈川大学学生緊急支援募金」への協力のお願いを、11月発送の「村橋・フロンティア奨学金募金」と併せお送りさせていただきますので、ご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますがウイズコロナと呼ばれる状況下で、会員の皆様及びご家族の皆様におかれましてもお身体には十分にご留意いただき、これからも益々ご活躍されますよう祈念しております。また、引き続き当クラブへのご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

兼子学長に聞く

# 神奈川大学の新型コロナ対応

学校法人神奈川大学理事長
神奈川大学長
**兼子　良夫**

**神奈川大学は、政府の緊急事態宣言の発令と同時に、8月1日までの全授業のオンラインでの実施と入構禁止を決定した。当時は「早すぎる」といった批判もあったが、なぜこのような対策を講じたのか。新型コロナウイルス感染症への大学対応について兼子学長に聞いた。**

## 2月から留学生を帰国させる

1月24日に開かれた危機管理委員会で、新型コロナ対策にかかる「緊急対策本部」が発足し、兼子学長はすぐさま学内に「声明」として注意喚起を促した。また、「緊急対策会議」は1月28日から始まり、ほぼ隔週で開かれ今日に至っている。

兼子学長は説明する。「的場昭弘副学長は、海外の大学とのネットワークが強く、また、本学は世界約160大学と学術交流協定を結んでいます。私もアメリカのUCLAと深い繋がりがあるなど、現地の情報がリアルタイムに伝わってきていました。こうして独自に各国の正確な情報を収集できていたため、先んじて対策を打つことができました」。

例えば、全国的にも早い2月に、世界中にいる交換留学中の全学生を帰国させることを決めた。国際センターの教職員が昼夜を問わず各国のコロナ情勢を注視しつつ留学生たちに細かな指示を送り、4月19日には全員を帰国させた。当初、保護者や学生からは帰国指示に「早すぎる」「授業が終わっていない」と反対の声もあったが、その後の世界情勢と渡航制限などを踏まえると的確な判断だったと言えよう。「海外では、様々な感染経路が指摘されていました。『分からないのだから最大限に注意しよう』と。ハーバード大学では早々に寮を閉めました。本学でも、日本政府が本格的に対応するより前に、具体的にどのように学生を守るかの検討を始めました」。

社会情勢が徐々に深刻化する中、2月26日には卒業式中止、3月4日には入学式中止を発表した。「緊急事態宣言」が発令された4月7日には、前期はオンライン授業に移行、8月1日まで入構禁止、職員は原則在宅勤務などの対策を発表した。しかしこの大胆な決定は、一部学生に不評だったという。

「本学には学生が約1万8千人在籍し、その約4割が横浜・平塚近辺に下宿します。教員数は非常勤を含めると千数百人です。段階的に対面授業を再開する、あるいは、対面授業を全て遠隔授業にすることは、全国から集う学生の負担軽減であり、健康への不安や心配に応えることでもあるのです」。刻一刻と変化する新型コロナ情勢に対して、大学という巨大な組織を動かすには、世界の正確な情報に基づいて、先手、先手で決定しなければならないのである。

## 学校法人神奈川大学　理事長就任について

学校法人神奈川大学は、令和2年9月23日（水）に新理事会を開催し、現学長の兼子良夫（かねこよしお）を新理事長として選任いたしました。

また、同日、常務理事に三浦大介（現副学長／法学部教授）、日野晶也（前常務理事／理学部教授）を選任いたしました。

新理事会の任期は、令和2年9月23日から令和5年9月22日までの3年間です。

## オンラインの利活用が大学の優位性を決める

7月30日には、後期も原則として遠隔授業を実施することなどを発表した。一方、前期のアンケート結果や海外の大学の事例なども参考にしながら、ハイブリッド型にして、徐々に対面を再開する方向を模索している。さらに、先輩学生の協力を仰ぎ、学生間の交流企画を行う。「1年生は一度も大学に来られていませんし、引き続きコロナへの不安から大学に来たくないという学生もいます。こうした中で、今オンラインでできる交流などをやって、少しでも学生の不安を払拭したい」と田島事務局次長は説明する。

兼子学長は、来年度以降の展望をこう述べる。「海外の大学でも、オンライン授業が標準になるでしょう。授業だけではなく学術交流協定もオンライン化していくことが考えられます。そこで、ダブルディグリーやトリプルディグリーもこれまで以上に実現しやすくなります。オンラインをいかに利活用できるかが今後の大学の差別化や優位性を決める分岐点になります」。

国内・海外の事情を正確に踏まえつつ、学長が自らの責任のもとに早期に決断を下す。それに対して、着実かつ、しなやかに対応できる優秀な教職員がいる。兼子学長は最後に、「コロナ禍という逆境下でも、『神奈川大学で良かった』と思ってもらえる教育や学生支援を打ち出していかなければなりません。それには、学生のためにと本気で考える教職員の存在が不可欠なのです」と締めくくった。

（令和2年9月23日発行「教育学術新聞」より抜粋）

## フロンティアクラブ会員紹介

### 岡田　繁

## 教育・研究・行政から得た財産

私は、1968年（昭和43）神大応用化学科卒業、1970年（昭和45）神大工学部助手で母校に帰ってきました。私は応用化学科助手として27年間勤務し、無機化学の先生方とセラミックスの研究を行ってきました。私は学生と一緒に研究装置の作成や夜遅くまで実験データを得るための研究、学生と研究でコミュニケーションをもつことで、充実した研究生活を過ごすことができました。

私が神大で比較的多くの研究成果を残せたのは共同研究者で研究熱心な工藤邦男先生の賜物で、今でも感謝しています。1987年スウェーデン国ウプサラ大学化学研究所に在外研究員で1年間留学し、1993年（独）物質・材料研究機構（NIMS）との共同研究官を10年間行い、新規無機材料化合物の研究に着手できたのも幸運でした。

その後、1997年国士舘大学工学部助教授に就任しました。私が国士舘大学に移るとき、辛重基先生から、「大学が変わっても研究は続けた方が素晴らしい人生が残せる」とご助言を頂き、今でも心に残っています。1998年東北大学金属材料研究所との共同研究員を18年間行い、2001年オーストリア国ウィーン大学物理化学研究所に客員教授で1年間招聘され、研究を通して多くの研究者と親睦を深めることができました。

2006年、国士舘大学学生部長の役職を拝命し、2009年学長室長および2012年副学長を兼務いたしました。その間良かったことは教職員の方々との出会いで様々な見識が得られたことです。2008年北京オリンピックと2012年ロンドンオリンピックに出場した同大学のアスリート達（柔道、シンクロナイズドスイミング、新体操など）と彼らを指導した先生方とは会議で接する機会を得たのも良い経験でした。役職の9年間では、私は同大学の教職員の方々から貴重なご意見を頂き、大きな財産を得ることができました。私が経験した大学での教育・研究・行政が皆々様に少しでもお役に立ち、母校の発展に生かして頂ければ幸いです。フロンティアクラブの皆々さま、よろしくお願い申し上げます。

1945年（昭和20）東京生まれ。68年（昭和43）応用化学科卒業。86年工学博士（東京工業大学）、2002年（平成14）国士舘大学工学部教授、12年（平成24）同大学副学長、16年（平成28）同大学定年退職、16年（平成28）同大学名誉教授。19年（平成31）神奈川大学工学研究所客員教授、現在に至る。

## フロンティアクラブ会員紹介

### 丸茂　秀昌

# 一杯のコーヒーが取り持った縁

過日フロンティアクラブ入会の案内状を頂き、「私も少しずつ社会に恩返しをする時期が来たのかな」と感じ入会しました。神奈川大学では、将来に対する強い意志も持たずに貿易学科にお世話になることになりました。「大学とはどのような場所なんだろうか」と学内を散策していたところ〝貿易研究部〟に入部を誘われました。学食でご馳走になった一杯のコーヒーに変に強い義理を感じてしまい、そのまま入部しました。貿研での4年間は、「4分の1がディスカッション、4分の1が酒、4分の1がアルバイト、4分の1が遊び」に明け暮れ、本来の目的である学業をなすことは出来ませんでした。しかし、多くの心豊かな先輩、同輩、そしてかわいい後輩に巡り合うことが出来、一杯のコーヒーの取り持った縁は今では私にとって掛け替えのない宝です。

「何か」を求め、夜を徹し激論したことも度々ありました。そんな中、過去を巡ったり、将来への意志、挑戦、挫折、再出発を経験した時に立ち返ることの出来る「場所」を形あるものとして残そうと、友人と三宅島に土地を購入しました。今では噴火でその場所は存在しませんが、多くの後輩がその思いを引き継いでくれました。更に残念なことに、貿研は何年か前に廃部になってしまいました。しかし、今でも各年毎の貿研OB・OG会には多くの仲間が集います。

「何か」は学生時代に見つけることが出来ずに卒業し、暫く就職もせずにいました。そんな時、学生時代のアルバイト先の社長に「発展途上国に中小の規模での産業を誘致する仕事をするので手伝え」と言われ、KENYA国に渡りました。「簡易セラミック工場」「タイヤ再生技術」「ニット工場」「貴石研磨工場」など6年の間に貴重な勉強や経験をすることが出来ました。

その後、貿易のことをしっかり学ぼうと帰国し、3年間商社勤めをしました。わけあり起業し、現在に至っております。商社とはいえ未だ事業規模は私が思い描いた3分の1にも達しておらず、毎日悪戦苦闘しております。

あと3年は頑張らなくてはなりませんが、その後は若い人たちに託すべく計画しております。世間知らずの私ですが、フロンティアクラブの皆々さま、どうぞ宜しくお願いいたします。

1950年（昭和25）神奈川県平塚市生まれ。73年（昭和48）貿易学科卒。83年（昭和58）㈱グローバル設立、現在に至る。

### 芳賀　則人

# 不動産鑑定士として40年

私は1971年（昭和46）法律学科に入学しました。当時はまだ学園紛争が覚めやらぬ時期で、1年生の前半はロックアウトとか言って大学が内側からカギをかけて過激派を入れない措置を執ったため、ほとんど授業がなかったような記憶があります。（授業料を返して欲しい……冗談ですが）学生時代は資格試験を目指していたので学生運動とは無縁で、いわゆるノンポリでした。ノンセクトという言い方もあります。

「法学部に入ったからには司法試験に」との意気込みは、3年生当時のゼミの先生であった篠塚昭次先生が不動産鑑定士試験制度を紹介してくれたことにより一気に覚めて、現在の職業である「不動産鑑定士」に乗り換えました。お陰様で昭和50年卒業の年に2次試験に合格しました。それから神大の先輩であった飯田武爾先生の鑑定会社に入社して昭和55年末に3次試験に合格し、以来約40年間、㈱東京アプレイザルという不動産鑑定士の会社を経営して来ました。現在は新宿区高田馬場に事務所を構えています。一昨年の9月に代表取締役を退任し、会長と名乗っています。

仕事内容は、①相続税申告時に鑑定評価を採用して土地評価を行うケース②遺産分割時における適正な土地評価③同族法人間・親族間で土地売買を行う時の時価評価を出すケース④家賃の増減額請求に伴う鑑定評価⑤証券化不動産の

適正な時価評価等々、不動産の評価に関するあらゆる分野でお客様のお役に立てるような業務を行っています。なお、東京アプレイザルはシェアオフィスながら西口に横浜支店を置いています。

実は最近になってようやく神奈川大学不動産鑑定士会なるものが発足しました。8月7日現在の登録人数は私を入れて14人とやや少人数ではありますが、今後の活動に微力ながらも応援したいと思っています。私も67歳になり後輩諸君に将来の不動産鑑定士が活躍できる場を提供したいと念じています。

1953年（昭和28）北海道生まれ。75年（昭和50）法律学科卒業。㈱東京アプレイザル会長、不動産鑑定士。一般社団法人相続知識検定協会代表理事、一般社団法人事業承継検定協会理事。『実例でわかる！広大地評価（制度理解と適用判断）』（清文社）など著書多数。

## 鈴木　龍哉
# いつかは戻りたくなる場所

この度、フロンティアクラブへの入会が決まり、大変光栄に思っております。私は1998年（昭和63）、一浪後に当時の第二法学部法律学科に入学しました。正直なところ、当時は素直に入学を喜ぶことはできませんでした。

一年間の浪人生活で何の成果も上げることもできず、神奈川大学の夜間部に進学を決めたことはむろん本意ではなく、すっかり無気力になってしまいました。昼間はアルバイト、夕刻以降は大学の講義に出席する日々。一部客観的には、「講義をサボらないマジメなやつ」に映っていたようですが、実際のところは単に惰性によるものでした。

周囲に昼間部への転部試験を受けることを勧められてもその気を起こさず、熱心な同期生が国家試験受験のための準備をするのも横目に、ただ講義に出席するだけの学生になってしまいました。

もともと法律には興味がなかったこともあり、いま思えば教室以外では法律書を開いたことはありませんでした。三年次になると、アルバイトで授業料を稼ぎながら週2回英会話学校に通うようになりましたが、相変わらず法律の勉強はしませんでした。その後、無事4年で卒業を果たし社会人になると、大学との心理的な隔たりは広がるばかり。職場等でも学生時代の思い出を語ったことは、ごく最近までなかったほどです。

このような機会をいただきながら楽しい話が書けないことを、非常に心苦しく感じています。不惑の年を過ぎるころから学生時代の不勉強を猛省するようになり、いまひとつ意義のある大学生活を送れなかった原因は自分自身にあると自覚するようになりました。

早いもので、社会保険労務士として開業してから3年半が経過しました。もはや駆け出しとは言えませんが、まだまだ未熟者です。不惑の年を過ぎてからあれほど嫌っていた法律を勉強するようになったのは、あの時代をなつかしく思えるようになったからにほかなりません。母校・神奈川大学の名に恥じぬよう、微力ながら社会に貢献できる活動ができればと、強く感じています。

1968年（昭和43）横浜市生まれ。92年（平成4）第二法律学科卒。産業機器メーカーにて9年間経理事務に携わった後、渡米。オハイオ州立マイアミ大学にて1年間日本語教師を務める。帰国後、横須賀米海軍基地内勤務を経て、現在は社会保険労務士及びファイナンシャルプランナー（AFP）。年金相談を中心に活動。

## 小菅　貴春
# 学生時代に培ったこと

昨年、神奈川大学フロンティアクラブに入会させて頂きました。母校に何かしらの形で関われればと思っていた矢先にお誘い頂き、大変うれしく思っております。本クラブにおいて各方面でご活躍している諸先輩方とご一緒できる機会を得ることは私にとってとても有意義なものとなります。宜しくお願い申し上げます。

## フロンティアクラブ会員紹介

私は１９９７年（平成９）に経済学部経済学科を卒業し、ディスプレイ業界では老舗の株式会社ムラヤマに入社、イベント畑で約７年間、空間ディレクターを務め、２００４年（平成16）に家業である株式会社小菅不動産に入社し、２０１３年（平成25）より代表を務めております。

学生時代の４年間は、部活動一辺倒の学生でした。しかし、４年間熱中したラクロスというスポーツを通して、社会人としての基礎である「挑戦する」「自分で考える」ということを養えたのではないかと思っております。ラクロスはその当時、日本においてまだ10年程、本学ラクロス部も創部４年目の歴史しかなく、当然、体育会にも正式加入できず、グラウンドを使用できるのも早朝のみでした。当然、部の運営を含む全てのことを自分たちで考えなければならず、また、他大学も同じような境遇でしたので、お互いに情報交換を行い、共に切磋琢磨していく状況でした。そのような境遇だったからこそ「挑戦する」「自分で考える」ということを養えたのだと思います。

仕事に関しては、前職のムラヤマ時代に日韓ワールドカップや九州沖縄サミットなどの国家的イベントを担当の一人として経験できたことが一番の思い出となっています。現在の小菅不動産では大和市を中心とした県央エリアで賃貸管理をメーンとして約６０００戸の賃貸物件の管理を行っております。前職でも現職でもそうですが、一つとして同じ仕事はありません。お客様一人ひとりの思いを実現する為の基本は「挑戦」と「考える」ことだと思います。そのことを培えることができた神奈川大学には感謝しております。

１９７５年（昭和50）大和市生まれ。97年（平成９）経済学科卒。同年㈱ムラヤマ入社、２００４年（平成16）（株）小菅不動産入社、13年（平成25）代表取締役就任、現在に至る。

## 飯島　俊

# 思い出は定食屋「グリルガーデン」

本年からフロンティアクラブに参加させていただきました飯島俊と申します。横浜生まれの横浜育ち。身長は１９７センチ。事務所は横浜駅。自宅は2年前まで白楽で、現在は妙蓮寺に住んでいます。卒業から20年近く経っても、こんなに神大近くで生活するとは思いませんでした。

在学中は山火先生のゼミにお世話になり、卒業後もとても良くしていただきました。山火先生が退職されるときには、研究室にあったとても立派な表紙の判例体系刑法、判例体系特別刑法等の書籍をお譲りいただき、今も事務所に飾らせていただいています。いつかこれを使いこなせる弁護士になってみたいものです。

神大の思い出といえば、なんといってもガーデン山商店街の定食屋「グリルガーデン」です。神大から歩くと少しありますが、授業の空きを見つけては、夏は汗だらけになりながら、冬は凍えながらも足繁く通い、いつも特製ランチを食べていました。チキンフリッターやハンバーグで山盛りの白米をもりもり食べる喜びは今でも忘れられません。横浜で開業した後も、車で出勤した日はちょっと足を伸ばしてよく食べに行ってました。閉店してしまったことが残念でなりません。

大学３年生のころから少しずつ司法試験の勉強を始めたため、神大の図書館にはとてもお世話になりました。あの頃は司法試験といえば長時間勉強すればよいものだと信じ、効率も考えず、気合だけで長時間図書館に籠もり、自己満足していました。あの頃の自分に「そういうものじゃないぞ」と教えてあげたいです。

入会させていただいてすぐに新型コロナウィルスの感染拡大が始まってしまい、まだ一度もイベントに参加させていただいておりませんが、状況が落ち着き次第参加させていただきたいと思います。今後とも宜しくお願い致します。

１９７９年（昭和54）横浜市生まれ。２００２年（平成14）自治行政学科卒業。06年（平成18）司法試験合格。09年（平成21）川崎総合法律事務所入所。同年（平成18）横浜西口法律事務所開設、現在に至る。

運営委員の紹介

## 小林　一三夫

# 貿易学科の学びが仕事人生の原点

フロンティアクラブには10年前に入会させていただきました。尊敬できる生き方をされている先輩が多く、元気が湧き感謝をしています。入会のきっかけは、神大同期入学の副会長の春原正三郎さんのご縁です。この度、運営委員の一人に推挙されました。

貿易学科に1968年（昭和43）に入学し73年（昭和48）に卒業しました。横浜育ちですので神大には小さな時から親しみがありました。貿易の仕事にあこがれて神大に入学しました。

神大時代の講義に臨む姿勢を振り返り、もったいないことをしたと思っています。3年の時に休学して、マドリード大学文学部外国人1年コースに留学しました。卒業して時計メーカーの輸出部門で6年間働きました。契約などで法律の知識が必要になり、仕事の後に学べる会社近くの明治大学法学部法律学科に学士入学をしました。

欧米の量販店から大量の時計の注文が入るので、将来日本も大手量販店が興隆するだろうと思っていたところ、イトーヨーカ堂が輸入部門を創設するので転職をしました。その後、会社の発展とともに海外部門も伸びて、39歳の時に部門の総責任者になり、トップが経団連の副会長に就任した関係で経団連の仕事も兼務でしていました。同時に子会社の役員などをさせていただき、大きな学びとなりました。必要性があり仕事の後MBA（経営学修士）で学びました。

57歳までイトーヨーカ堂（その頃はセブン&アイ）に勤めて、横浜商科大学教授に転身しました。学長は、現宮陵会会長の久保清治先生でした。博士の学位は、日本大学大学院で取得しました。2020（平成31）年3月に横浜商科大学を70歳で退職し、現在の大学関係の仕事は、日本大学大学院と神奈川大学経営学部の非常勤講師です。伊勢の（株）赤福の社外取締役を現在もしています。また、遺言書作成、相続手続きに特化した行政書士事務所をJR横浜線十日市場駅前のワンルームマンションに開業しています。神奈川大学宮陵会は、神奈川県ブロック横浜北に所属しています。どうぞよろしくお願い申し上げます。

1973年（昭和48）貿易学科卒

## 萩谷　紀之

# 学生運動さなかの大学生活

法律学科卒の萩谷紀之（のりゆき）と申します。本年2月の定時総会にて運営委員の一員に選出していただきました。フロンティアクラブに入会した動機は自己意志ではなく、神奈川区宮陵会総会初出席の場で、春原正三郎様の熱烈なる勧誘に起因しております。

入学から卒業までの大学生活は「楽しかったと言えば楽しかった。楽しくなかったと言えば楽しくなかった」と評価したい。理由は、入学早々の三里塚闘争や学費値上げ阻止闘争等の学生運動が盛んで、田舎（茨城県）出身の私には異様な雰囲気の中での入学と相成ったことです。

1年次の単位取得は、学生運動のさなか実施された期末試験は平均+アルファ取得でき、2年次はロックアウトで期末試験が中止となりレポート提出。ラッキーにも2年次で卒業単位全てを取得することができました。学生運動もピーク時からやや後退気味になった3年次からは、ゼミ（江南ゼミ、物権法）活動と、教職単位取得に向け本来のキャンパスライフを全うすることが出来ました。

思い出としては、4年次の出身中学への教育実習を経て、何とか社会科中学1級と高校2級をゲットすることができたことぐらい。その後、秋の横浜市教員試験にトライしましたが運悪く（実力が伴ってなかった！）見事不合格でした。中学の教育実習は3年生を担当しました。折しもTVでは「3年B組金八先生」全盛期だったこともあり、自分が主役になったような毎日で、2週間の期間もあっという間に過ぎてしまいました。実習後、多くの教え子からレターをいただき、幸運にも数名とは今でもやり取り継続中です。

就職は、未練の教職を諦め、遅

ればせながら就職課より紹介を受けた、港区新橋（現中央区茅場町）に本社があった1825年（文政8）創業の㈱丸運（現ＥＮＥＯＳグループ）に入社し、勤続40年となります。趣味はゴルフ。キャリアは十分ですが、腕前（スコア）は推して知るべしといったところです。

フロンティアクラブ運営委員としては、コロナ禍の中で全く協力できておりません。諸先輩の足手まといにならぬよう自分なりに「活発なコミュニケーションの実行」をモットーに、様々な経験をさせていただきたいと思っております。

1981年（昭和56）法律学科卒

## 本の紹介

# 言葉使いのトレーニング

**安田　正**　（1978年（昭和53）英語英文学科卒）

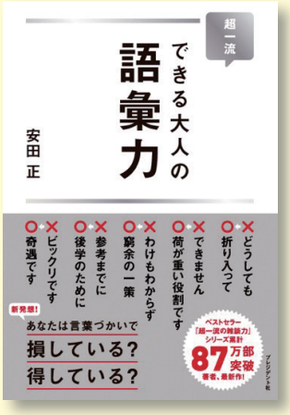
言葉というものは、「百花繚乱」咲き乱れる花のように魅力的なものです。それをうまく使えれば、私達の個性がとても際立つわけです。

例えば、「かっこいい」や「誠実」、「チャーミング」というような自分の魅力に直結するのはやはり言葉なのですが、流行り言葉、周囲の影響を受けた言葉を無意識に使ってしまっている、という現状があります。

しかし本当は自分が周りにどう見られたいか、どんな印象を与えたいかということの大きな一つにこの言葉がありますので、自分で蓄積して自分の納得できる言葉を使うことがとても大切です。

ところが、そういったトレーニングをできる本が他に見当たらなかったため、私はこの本を作るに至りました。単純に“こういった素晴らしい表現があります、覚えてください”というような世間に溢れているような本ではなく、この本は自分がどう相手に映りたいのかを確定させていく本となります。

皆様のお役に立てることを願っております。




超一流
できる大人の語彙力
プレジデント社

# 売上累計10万部を突破

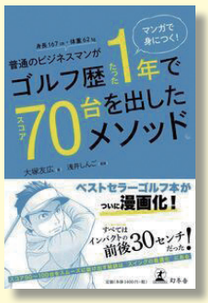
**大塚　友広**　（2005年（平成17）貿易学科卒）

28歳でゴルフをはじめ、早10年が経過しようとしています。とにかくダフってばかりだったゴルフを始めた当初の感触が今でも手の感触と自分の中の映像として記憶に残っています。

あの時は自分でゴルフの書籍を出すなんてことは想像すらできない状態で、どうやったら100を切れるのか寝れなくなるくらい考えていたことをよく覚えています。その時考えた、ゴルフの上達法を示した私の書籍は、お陰様で売上累計10万部を突破し8月末には漫画になりました。また10月28日には2冊同時に新作が発売されることになりました。すべて幻冬舎からの出版です。

今までの型にはめるだけのゴルフ理論に疑問を抱き、自ら編み出したそれぞれの型の体系に合ったスイング構築が間違っていないということを1年で70台前半までスコアを伸ばしたことで証明することができました。それを書籍化していただき、自分でも想像を超える出版部数となりました。

ゴルフをされていらっしゃる方々に是非お手に取っていただけたら幸いです。




マンガで身につく！
普通のビジネスマンが
ゴルフ歴
たった１年で
スコア70台を
出したメソッド
幻冬舎

ゴルフはインパクトの
前後30センチ！
幻冬舎

スモールスイング
レボリューション！
１年で70台に
突入する
30センチトレ！
幻冬舎

第96回日本学生選手権水泳競技大会

# コロナ禍のインカレ　初の栄冠

第 96 回日本学生選手権水泳競技大会女子総合優勝の水泳部

優勝カップを手に高々と掲げる筆者（中央）と水泳部一同

神奈川大学水泳部監督
舟橋道成

「神奈川大学が歴史を変えた！」。東京辰巳国際水泳場で開催された第96回日本学生選手権水泳競技大会（インカレ）において、水泳部員たちはコロナ禍の中、与えられた環境下で練習成果を十分に発揮し、初の栄冠を勝ち取ることができました。

大学での練習が三ヶ月間できなくなり、部員たちは試行錯誤しながら練習を継続していきました。自宅に簡易プールを準備する者、トレーニング器具を自作で作成する者、それぞれが与えられた環境下で乗り切っていました。

7月上旬にインカレが開催されることが決定し、大学での練習を三ヶ月ぶりに開始しました。その時の部員たちは、とても勝負ができるような状態ではありませんでした。「ここからやるのかと…」。正直、絶望感しかなかったのを覚えています。しかし、どの大学も状況は同じ。コロナを言い訳にすれば最初から敗北を認めてしまうことになり、せっかくの部員の努力も水の泡になってしまう。出場するからには言い訳をさせないと思い、三ヶ月間のハードなトレーニングプログラムを遂行させていきました。

そして迎えたインカレ本番。部員たちは自己記録を更新または更新に迫る好タイムを出し、優勝者こそ出せなかったものの、見事に初優勝を果たしました。2005年に強化クラブに指定されたチームは、わずか15年で伝統校の厚い壁を打ち破り、光り輝く大学日本一という栄冠を獲得することができました。

現在、神奈川大学水泳部にはオリンピック強化選手が4名います。この勢いそのままに来年の東京オリンピックを目指します。

自作のトレーニング機器で練習する選手

コロナ禍で練習ができないなか公園でトレーニングする選手

# みなとみらいキャンパス オープン近づく

## ―期待される大学発展の起爆剤―

横浜・みなとみらい21地区に建設中のみなとみらいキャンパスの完成が近づいています。今年12月に建物の引き渡しを受けます。2021年4月にはグローバル系の3学部が移転します。新キャンパスのコンセプトは「『国際・日本』の融合した未来『創造・交流』キャンパス」。大学は2028年の創立100周年に向けて諸施策を展開しています。新キャンパスは今後の大学発展の起爆剤となることが期待されます。新キャンパスの進捗状況などを地元新聞社で長年活躍した卒業生の浅田勁さん（昭和42年貿易卒、神奈川県綾瀬市在住）に報告してもらいました。

みなとみらいキャンパスは大学の前身・横浜学院が創設された桜木町に隣接。みなとみらい線のみなとみらい駅から徒歩約6分。新高島駅から徒歩約4分。JR・東急東横線・京浜急行・相鉄線・横浜市営地下鉄の横浜駅から徒歩約11分。JR・横浜市営地下鉄線桜木町駅から徒歩約12分。横浜市役所や神奈川県庁は徒歩圏内。1858年6月に調印された日米修好通商条約により開港された地でもある。現在ではグローバル企業、美術館、コンサートホール、劇場などの芸術文化施設、ホテル、イベントホール、ショッピングセンター、病院が立ち並んでいる

2018年10月に着工。地下1階、地上21階。敷地面積約7千848平方メートル、建築面積約5千430平方メートル、延べ床面積約5万500平方メートル。高さ99・9メートル。外観はほぼ完成している。

1階は学生だけではなく研究者、周辺企業、観光客など多くの「人」が集い、地域や社会とつながるさまざまな機能を持つ空間のソーシャルコモンズ（知と文化の交流拠点）。アートギャラリー、大学の歴史・将来構想の展示エリア、体験教室・ラボ、観光ラウンジ、ブックカフェ、グローバルラウンジ。2階、3階は図書館。4階～9階は講義室・学生ラウンジ（学生食堂）・中・小ホール。12階～20階が研究室・研究所・ゼミ室・プレゼンテーションフィールド。21階のトップラウンジは富士山、大山山系を眺めながらの飲食を楽しめる。パーティーもできる。

来年4月に移転するのは今年4月に新設された国際日本学部と外国語学部、経営学部の3学部。「世界・日本・地域の架け橋となる人材」を育てるのが目的。看板の国際日本学部は国際文化交流学科、日本文化学科、歴史民俗学科からなる。国際文化交流学科は2年次から文化交流コース、観光文化コース、国際日本学コース、言語・メディアコースに分かれる。日本文化学科は国際社会の中に位置づく日本文化を自覚し、多文化共生社会に貢献する人材を育成。歴史民俗学科は大学院の「歴史民俗資料学研究科」及び「日本常民文化研究所」の伝統を生かした学びの場となる。新キャンパスでは約5千人（2021年度は約4千300人）が学ぶ。

1階のソーシャルコモンズ空間には今年10月に開設予定の社会連携センターを設ける。市民はもとより企業や行政機関との連携、国連で採択されたSDGs（持続可能な開発目

標）学習の拠点となる。大学はすでに横浜企業経営支援財団（ＩＤＥＣ横浜）と包括協定、神奈川県中小企業家同友会と相互協力協定を締結。昨年は神奈川県、今年２月には横浜市と包括連携協定を結んだ。センターを通して社会への貢献を積極的に進める。「建物全体がソーシャルコモンズとの考えに立っています」。キャンパス計画推進室の相良秀生室長はこう強調する。エントランスホールは１～４階が吹き抜け。「街に開かれたデザイン」（相良秀生キャンパス計画推進室長）が特徴。

神奈川大学は既に世界39カ国、152校（ＨＰより）の大学と学術交流協定を結んでいる。２０１９年７月には大学の近くに国際学生寮「神奈川大学栗田谷アカデメイア」を完成させている。地上４階建て、延べ床面積は約６千平方メートル。２１０の個室と３つの多目的スタジオ、多目的和室、共用キッチンがある。定員は２００人。「まちのような学生寮」がコンセプト。学生が食文化や言語、生活スタイルなど、共同生活を通して互いに学び合う空間を目指す。

牧内良平理事長（当時）は「宮陵（ＮＯ68）」で２０２８年の創立１００周年、さらに20年、30年先を見据えた将来構想実行計画（２０１８～２０２８年）と中長期財政計画（同）の着実な実行を強調。「具体的には、みなとみらいキャンパス計画、横浜・中山両キャンパスを含めたキャンパス新総合計画の推進」を図るとする。その一環として、建築学部新設も予定されている。「大学の存在意義は、いかに時代を先導する力を示すか、いかに人類の未来に貢献できるかに懸かっています」。兼子良夫学長（現理事長兼学長）は「宮陵（ＮＯ69）」でこう書く。大学の今年の志願者数はこの４年間で１万人も増えている。

ダイバーシティ（多様性）と共生の時代。みなとみらいキャンパスが果たす役割は大きい。横浜から日本全国、さらに世界への一層の発展。大学関係者、卒業生が胸に秘める想いである。

◎文・浅田勁
◎写真・イラスト　神奈川大学提供

この記事は、一般社団法人宮陵会発行の機関紙『宮陵会報ＮＯ１１０号』（２０２０年７月末発行）に掲載されたものを一部修正したものです。

## 国際日本学部の紹介

国際日本学部長
坪井　雅史

国際日本学部は、国際文化交流学科、日本文化学科、歴史民俗学科の3学科から構成され、それぞれの入学定員は、170名、60名、70名となっています。全学科の学生が、学科を横断して開講される学部教養科目や、学科横断的なゼミナールを履修する中で、学科の垣根を越えて互いに交流出来るようにしたことが、この学部の大きな特徴です。

◆

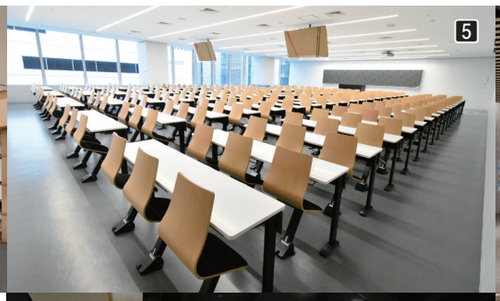
国際文化交流学科は、これまで外国語学部に所属していた国際文化交流学科の入学定員を70名増員し、文化交流、観光文化、言語・メディア、国際日本の4コースを設け、これまで以上に多様な関心を持った学生を受け入れられるようにしました。従来との大きな違いとしては、観光分野の教員を大幅に増員し観光と文化の関係を学べるようになったこと、また日本文化を研究する外国人教員を増員し、国際的な視点から見た日本文化について英語で学べる科目を大幅に増やしたことがあげられます。

◆

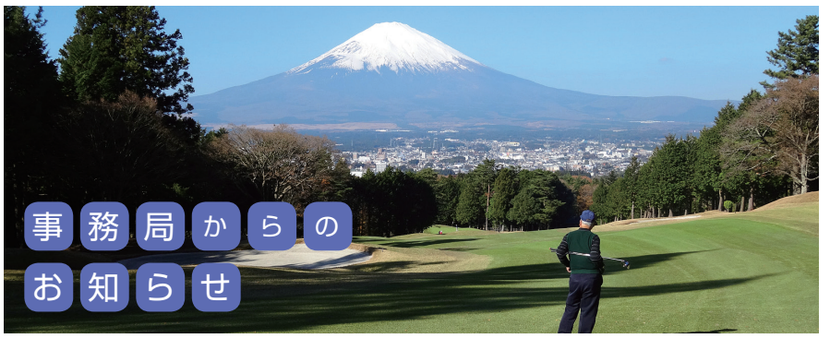
また日本文化学科と、歴史民俗学科という新しい学科を開設することで、これまで本学にはなかった全く新しい分野に関心を持つ学生をも受け入れられるようになりました。日本文化学科では、日本語学、日本文学だけでなく、日本の古典ならびに現代文化を幅広く学べるようにしております。歴史民俗学科では、大学院歴史民俗資料学研究科ならびに日本常民文化研究所等の、本学が誇るさまざまな資料に学生が直にふれながら学べる科目を充実させるとともに、地域創生に寄与できる学生を育てるための教育が特徴になっています。また、日本文化学科では、本学ではじめて中学・高校の国語の教職免許を取得出来るようになりますし、歴史民俗学科では公民分野ではなく歴史の分野を中心とした中学社会、ならびに日本史を専門に教えられる地歴の教員を輩出できるようになります。

◆

さらに、2021年４月には、外国語学部・経営学部と共に、みなとみらいキャンパス（MMC）に移転する予定です。今後はみなとみらいの立地を活かし、様々な国際機関や企業との連携を深め、キャリア教育や学生が参加できるイベントなどを通して地域に根ざした学部になれるよう、工夫を凝らしていきたいと考えているところです。フロンティアクラブのみなさまのお力添えを頂けるとありがたい限りです。



◎写真説明（1、2、3、4、7はイラスト）
1 1階 米田吉盛記念ホール
2 1階～4階 エントランスホール
3 2階 ラーニングコモンズ
4 2階 図書施設
5 4階 中講義室
6 5階 体育施設
7 12階～高層階プレゼンフィールド




箱根交流会第９回ゴルフの会より

## ★山歩きの会

○日時　11 月 20 日（金）9 時～14 時ごろ　※インストラクターの資格をお持ちの小林照夫氏本会会員がご案内いたします。
○集合　箱根保養所（神奈川県足柄下郡箱根町大字仙石原 1104-1）　電話 0460-84-9611
○最少催行人数　5 名　○コース（初級）保養所→乙女峠→丸山→長尾峠→芦ノ湖展望公園
○コース紹介　乙女峠は金時山の下山ルートの境になるエリア。そのため、静かな山歩きを堪能することが出来ます。山歩きの経験がない方でも、箱根外輪山の尾根歩きを楽しんで頂けるコースです。

## ★紅葉とゴルフの会

○日時　11 月 27 日（金）　8 時 45 分現地集合　○会場　足柄森林カントリー倶楽部（静岡県小山町桑木 658）
○アクセス　東名高速道路（E1）足柄サービスエリアスマート IC より 3 分、御殿場 IC より 5 分
電話　0550-76-3771　○プレー費（会費含む、税込）　キャディ付き食事付き：13,500 円　セルフ食事付き：11,000 円
○募集人数　4 組（16 人）　○参加資格　会員、神奈川大学教職員、神奈川大学卒業生
○富士の秀麗と紅葉を楽しみながら「ゴルフ…しませんか？」皆様のご参加をお待ちしております。

## ★魚釣り

○日時　12 月 6 日（日）　7 時集合　○集合場所　金沢八景　一之瀬丸（神奈川県横浜市金沢区洲崎町 6-7）
○最少催行人数　10 名　○会費　8,000 円　○対象魚　アミ五目（イナダ、アジなど）※アジ、イナダのポイントを狙う予定です。
○当日は、教職員釣り部も参加予定。初心者の方でもお楽しみいただけます。

☆申し込み締め切り後に、各会へお申し込みを希望される方は、電話またはメールにて、お問い合わせください。
電話：045-481-5661（総務部校友課）　Mail：kufc-frontier@kanagawa-u.ac.jp

## 産学交流 フロンティアサロンについて

隔月にて開催をしておりましたフロンティアサロンにつきましては、新型コロナウイルスの影響により、現在のところ対面での開催に目途が立たない状況です。対面にて開催ができる状況が整いましたら改めてご案内いたします。

## withコロナ時代の学生支援について

フロンティアクラブでは、新型コロナウイルスにおける急激な社会情勢の変化に鑑み、これから社会へ羽ばたこうとしている学生に向けたキャリア支援に関する講座を当クラブ会員を講師として 12 月に開催する予定です。詳細が決まりましたら皆様にご案内いたします。

## 神奈川大学 フロンティアクラブ総会

▽日時　令和 2 年 2 月 27 日（土）14 時より＝予定▽会場　ホテル横浜キャメロットジャパン
※ 12 月下旬より順次ご案内します。

【年会費自動引き落としについて】　現在ご利用されている金融機関、ゆうちょ銀行からも自動引き落としが可能です。後日、預金口座振替依頼書・自動払込申込書お送り致しますのでご検討のほどよろしくお願いいたします。
すでに年会費を自動引き落としにてお振込みいただく会員の方も多数おります。

【神奈川大学学生緊急支援募金のお願いについて】　村橋・フロンティア奨学金募金と同封してお送りいたしました「神奈川大学学生緊急支援募金」について、ご協力賜りますよう何卒よろしくお願いいたします。こちらの募金につきましては、コロナ禍の急激な家庭環境の変化など、学業に励みたくても金銭的な事情により不安を抱えている学生に対し支援する募金です。

【会員募集について】　フロンティアクラブでは、引き続き会員の拡大に向け、積極的に会員募集を行っております。お知り合いなど紹介いただける卒業生がいらっしゃいましたら、事務局までお知らせください。